

狂瀾の地に生まれた方 ルカ 2:8-12

2023.12.3 草加 NO.714

春日部福音自由教会 山田豊

本日は待降節第1主日、また降誕祭ではありませんが、この時代における主のご降誕のメッセージを心に聞きたいと思えます。

羊飼いたちに知らされた救いの御子誕生の場所は、ダビデの町と呼ばれるベツレヘムでした。飼葉おけに寝かされている赤ちゃん、というのがそのしるしということで、彼らは救い主を見るために、すぐに出かけたのでした。

聖書に書かれた光景を思いめぐらしたり、讚美歌から思い浮かぶベツレヘムの光景は、静かで穏やかなイメージではないでしょうか。しかし今、ベツレヘムはヨルダン川西岸のパレスチナ自治区にあり、ユダヤ人地区との境界には大きな分離壁が立っています。10月7日のハマス侵攻による武力衝突は、ヨルダン川西岸でもその影響があるようです。今日のベツレヘムは観光客も絶えているという意味では静かでしょうが、イスラエルのクリスマスは、狂瀾の中に置かれているのです。

マタイの福音書には、新しい王が生まれたことを東方の博士たちに知らされたヘロデ王は恐れを抱き、ベツレヘムとその近郊の幼子を殺すように命じたことが記されています。そのことを知って、聖家族はエジプトに身を隠します。現在のガザの一般市民は、隣国のエジプトに逃れることができない状況です。また国際社会も、「私たちの国で彼らを引き受けます」というような声は上がっていません。この地区の人たちはここから非難することができず、イエス誕生の時代よりも、さらにひどい状況に置かれていると言えます。

マタイ 1:1 には「アブラハムの子、ダビデの子、イエスキリストの系図」とあります。1977年、エジプトの大統領であったアンワル・サル・サダト氏は、当時の敵国イスラエルの国会で平和共存を訴える演説をしました。その冒頭で、アブラハムは、アラブ人、ユダヤ人双方の先祖であることを語りました。神は、アブラハムを通して、すべての民族を祝福する約束を与えました(創世記 12:1-3)。キリスト者にとってもアブラハムは、信仰の父(ガラテヤ 3:23)です。ともに神の祝福を受ける民族、人類なのです。ここに思いが至れば、両民族の共存は可能なのです。

現代社会もまた、狂瀾の地に成り下がっているのではないのでしょうか。しかしそのような中に神は救いの御子を遣わしてくださり、私たちに祝福しようとして願っておられるのです。

引用聖句

マタイ 1:1 アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。

イザヤ 11:1-3

創世記 12:1-3 【主】はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。3 わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

創世記 17:4-8 「これが、あなたと結ぶわたしの契約である。あなたは多くの国民の父となる。5 あなたの名は、もはや、アブラムとは呼ばれない。あなたの名はアブラハムとなる。わたしがあなたを多くの国民の父とするからである。6 わたしは、あなたをますます子孫に富ませ、あなたをいくつもの国民とする。王たちが、あなたから出てくるだろう。7 わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、またあなたの後の子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしは、あなたの神、あなたの後の子孫の神となる。8 わたしは、あなたの寄留の地、カナン全土を、あなたとあなたの後の子孫に永遠の所有として与える。わたしは彼らの神となる。」

創世記 17:20 イシュマエルについては、あなたの言うことを聞き入れた。必ず、わたしは彼を祝福し、子孫に富ませ、大いに増やす。彼は十二人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民とする。

創世記 25:18 イシュマエルの子孫は、ハビラからシュルまでの地域に住んだ。シュルはエジプトに接し、アッシュルへの道にあった。彼らは、すべての兄弟たちに敵対していた。

ガラテヤ 3:28-29 ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。29 あなたがたがキリストのものであれば、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。

マタイ 2:16 ヘロデは、博士たちに欺かれたことが分かったと激しく怒った。そして人を遣わし、博士たちから詳しく聞いていた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯の二歳以下の男の子をみな殺させた。

ヤコブ 4:1 あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るのではありませんか。

マタイ 7:13 狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。

マタイ 18:4 ですから、だれでもこの子どものように自分を低くする人が、天の御国で一番偉いのです。

エペソ 2:15-16 様々な規定から成る戒めの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、この二つをご自分において新しい一人の人に造り上げて平和を実現し、16 二つのものを一つのからだとして、十字架によって神と和解させ、敵意を十字架によって滅ぼされました。



祝 降 誕 祭

Christmas 2023

降誕祭招待状 原画：渡辺禎雄



ベツレヘムの一部

左の写真の黒い線がイスラエルとパレスチナを隔てる『壁』。パレスチナ人地区内にあるお店は三方を高い壁に囲まれ、訪れる人は激減してしまった。